

ビタミン活動レポート



7/24 入間基地納涼祭
～航空自衛隊 入間基地にて～



7/25 ビタミン通信5号配布
～高麗川駅前にて～



7/29 埼玉県消防操法大会の様子
～埼玉県消防学校にて～



7/29 下高岡盆踊り
～子どもの頃から慣れ親しんだ盆踊り風景～



8/10 小山直城選手応援パブリックビューイング
～アリーナにて、感動をありがとうございました～



8/22 飯能青年会議所 夏季総会
～ヘリテージにて、来年度の体制お披露目～



9/23 青年会議所主催 みらいへつなぐ エコツアーマルシェ開催
～緑と清流の中で、エコツアー体験～



10/6 中着田曼珠沙華公園ライトアップ
～500万本の曼珠沙華の群生地・巾着田～

8/24 日高市商工会青年部夏まつり ～今年の目玉はゆるキャラパレード～

昨年、高麗川駅前通りを歩行者天国にして行った初の夏祭りにつづき、今年は武蔵高萩駅あさひ口（北口）前通りを歩行者天国にして開催しました。日中の設営は炎天下、開催時刻の前後は大雨となりましたが、周辺市町の青年部にご協力いただき、ゆるキャラたくさん登場し、悪天候も吹っ飛ばぬわいのあるおまつりとなりました！
私たち日高市商工会青年部は射的でたくさん子どもたちに楽しんでもらうことが出来ました。
ご来場いただいた皆様、ご協力いただいた皆様、誠にありがとうございました。



政治活動届出団体
加藤しょうご後援会
<https://vitamin-kato.com>

〒350-1236 埼玉県日高市大字猿田37-4 ☎042-985-6135 FAX:042-985-0667 ✉hdk.vitamin@gmail.com

ボランティアの
おねがい

ビタミン通信は今後も定期的に発行していきます。地域やお知り合いにお配りいただける仲間を募集中です。ご興味のある方はぜひ、上記の加藤しょうご後援会までご連絡ください。よろしくお願いします。



LINE公式アカウント



ホームページ



Facebook



Instagram



日高の よくきく・すぐきく・まちにきく ビタミン通信



日高市議会議員

加藤しょうご 令和6年9月定例議会報告

イーグルバス(株)市内運行区間の廃止に伴い 地域公共交通活性化推進事業の増額補正が可決！

路線バスの全面廃止は、通勤通学をはじめ市民生活への影響は大きく、市はイーグルバス(株)に廃止再考の要望を行うとともに条件について協議を重ねてきましたが廃止の決定は覆りませんでした。

イーグルバス(株)市内運行区間の廃止に伴う日高市の対応策

市民への影響を最小限に抑える + 限りある財源を有効に活用する

→「既存公共交通」+「現在協議中の新たなモビリティ」

早期に連携した代替手段を検討していく必要がある

市地域公共交通協議会にて協議し、早急に検討するために、
地域公共交通活性化推進事業の増額補正（3,762,000円）が可決！

月	廃止に至る経緯
4月	イーグルバス(株)→日高市 日高・飯能路線バスの全面廃止を決定したことの報告 日高市・関東運輸局埼玉運輸支局、飯能市 対策案の協議 ※以降、継続的に実施
5月	日高市→イーグルバス(株) 全面廃止の決定について再考の要望 イーグルバス(株)→日高市 条件付きでH13系統の運行継続の回答 条件①送迎事業と同等の利潤を加えた赤字運行補填 条件②乗務員の配置可能人数に即した運行回数 条件③電気バスの無償貸与 日高市→イーグルバス(株) 条件付き運行継続の詳細確認及び武蔵高萩駅までの延伸を要望
6月	イーグルバス(株)→日高市 条件付き運行継続の詳細及び武蔵高萩駅までの延伸困難の回答
7月	日高市→イーグルバス(株) 日高・飯能路線バスの運行継続に対する回答及び武蔵高萩駅までの延伸を要望
8月	日高市→イーグルバス(株) 日高・飯能路線バスの一部運行継続に係る条件の再確認 イーグルバス(株)→日高市 条件の見直し不可の回答 日高市→イーグルバス(株) 条件承諾は困難の回答

廃止路線の代替手段 令和7年4月からの実証運行を目指す！

日高市では、日高・飯能路線は市民の日常生活の足として重要な路線であり、特に市内でも居住人口の多いこま川団地を抱える同路線沿線地域において、市内鉄道駅を結節点とした、飯能・川越方面への移動手段は、今後も確保する必要があります。そこで、こま川団地・武蔵高萩駅・高麗川駅等への移動手段については、日高市が主体となり維持確保に向けた検討を図り、既存公共交通や新たなモビリティとの連携の中で市民の移動手段の確保を図っていきます。

代替手段の具体的検討案は？

維持・確保方針（案）

乗合タクシーの運用で、移動需要等に対応することができるとを検証するため、1年間の実証実験を行います。

- ・運行車両：10人乗りワゴン車両（2台、ほか予備車両1台）
- ・運行ダイヤ：午前6時から午後8時までの間で
1日あたり20便程度
- ・事業スケジュール：令和7年4月実証運行の開始（予定）

運行ルート（案）

武蔵高萩駅→武蔵高萩駅入口→女影→埼玉女子短期大学前
→下鹿山→高麗川団地第二折返場→高麗川団地中央
→高麗川団地第一折返場

高麗川駅西口→高麗川駅東口→生涯学習センター*
→高麗川南公民館入口→愛宕公園入口→中鹿山北→中鹿山南*
→高麗川団地第一折返場→高麗川団地中央→高麗川団地第二折返場

*仮称となります

※検討案につき変更の可能性があります

『新たなモビリティ（新交通システム）』 令和7年度早期実現を目指す！

現 状 と 課 題

地域公共交通計画の基本方針の策定に向けて、協議会で現状と課題を整理した結果は・・・

日高市の地域特性は？

- ・人口減少、少子高齢化
- ・市街化区域以外に人口の半数が居住
- ・自家用車利用を前提としたまちの形成

市民アンケート（R5年度実施）から わかる移動ニーズの実態は？

- ・自家用車を持たない、持てない世帯の増加
- ・移動が不便なことによる外出機会の抑制

移動支援の実態は？

- ・民間交通事業者の苦しい経営状況
- ・2024年問題の影響（運転士等担い手不足）
- ・ボランティアによる移動支援の維持（比重が大きくなる中での担い手不足の問題）

＊日高市に合った新たなモビリティの導入の方向性は？

↓ **タクシー利用助成が最も適した移動手段と結論！**

タクシー利用助成の具体的な導入案は？

Q 運行エリアは？

A 市内全域を対象
「既存公共交通の利用が難しい地域での移動の支援」と、
「公共交通の利用が難しい時間帯の移動の支援」の両立を図る。

Q 乗降場所は？

A 乗降ポイントを設定（自宅並びに市内乗降ポイントでの乗降）
市外施設への移動は、鉄道・バスへの接続により支援。

Q 登録対象者は？

A 16歳以上の市内在住者
高校生や子育て世代も含めた移動支援を推進。

Q 運行日は？

A 月～土曜日の 8 時～17 時
通院者に多く利用される可能性が高く、通院に利用しやすい
運行日を設定。

Q 利用料金は？

A 東松山市・川島町の事例を参考に継続検討
タクシーメーター 4,000 円以上の市内利用も想定されることから
4,000 円以上の価格帯の料金も設定予定。
市として持続的に負担可能な設定とする。
（利用者：行政の負担割合を概ね 5：5 で設定を検討中）

Q 予約方法は？

A 電話による予約
高齢者の利用が想定されることと、市内事業者の現在の予約体制に鑑み

Q 運行主体は？

A 市内タクシー事業者への委託を想定

注※導入案につき変更の可能性があります

JR 武蔵高萩駅における鳩対策

武蔵高萩駅を利用するたくさんの方から声が寄せられており、金子博議員が 9 月議会で一般質問をおこなった武蔵高萩駅の鳩の糞害対策について、自由通路及び駅施設の衛生環境の保全を図るため、鳩対策が実施されました。

実施内容

駅事務所屋上に捕獲ご 1 基を設置(令和 6 年 5 月 22 日～7 月 31 日)し、81 羽の鳩が捕獲されました。
※鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律の規定に基づき、有害鳥獣の捕獲の許可を得て専門業者へ委託
今後、被害状況を経過観察の上、JR 大宮支社と鳩除けの対策方法を検討及び協議していきます。



ホット
トピックス

埼玉版スーパー・シティプロジェクト 進捗報告

6 月議会において一般質問を行った『埼玉版スーパー・シティプロジェクト』について、「庁舎屋上太陽光発電設備増設設計事業」が採択され、県から 3,872 千円が交付されました。

この事業は、再生エネルギーの利用促進及び昼間の停電時における電源確保を目的に、平成 27 年に庁舎高層棟屋上に設置した太陽光発電の増設に向け、現地調査や竣工図書等資料の収集、耐荷重の確認及び工事設計図書を作成する業務です。
本事業の委託料 7,744,000 円に対して、事業化検討補助として 2 分の 1 の額が交付金として交付されました。

決算特別委員として令和 5 年度の決算について質疑（抜粋）

「キャッシュレス決済ポイント還元事業」

Q 本キャンペーンは、消費喚起を促すうえで、大きな盛り上げをみせる事業であったと認識している。市内中小事業者に対する経済効果をどのように評価しているか。

A 物価高騰等により落ち込んだ市内消費を喚起し、地域経済の活性化を図ることを目的に、中小企業を対象として、約 1 ヶ月間実施。総額約 2 億 3 千 4 百万円の決済額であったことから、大変大きな経済効果があったものと考えている。

「ウェブ情報発信運営事務」

Q SNS を用いた情報発信に関して、「ひだか知っ得情報アプリ」から公式 LINE への移行による成果及び利用者数の変化は。

A 市公式 LINE は、国のデジタル田園都市国家構想交付金を活用し、令和 5 年 7 月 1 日から運用を開始。成果としてスマートフォン等からの情報発信を受け取れる利用者が全住民の約 3 分の 1 まで一気に増加（市公式 LINE の友だち登録者数 19,537 人（令和 6 年 7 月末現在））。

市政に対する一般質問

右記の QR コードから
一般質問の様子を
ご覧いただけます！



I 日高市が未来にわたり「自立持続可能性自治体」であることを目指す！

今年 4 月に民間の有識者でつくる「人口戦略会議」が分析・発表した「地方自治体持続可能性分析レポート」に対する市の見解とともに、【未来にわたり日高市が「自立持続可能性自治体」であること】を目指し、『日高市で生まれ育った子ども達・日高市で学ぶ学生が日高市で就職したいと思える施策』、そして積極的に進められている『企業誘致の現状とその成果』について質問！

☐ 加藤しょうご 「企業誘致」推進の成果は？

☐ 総合政策部長 約 100 社の企業誘致・5,000 人超の雇用創出。

☐ 加藤しょうご 企業誘致の成果に対する恩恵は？

☐ 総合政策部長 昼夜間人口比率が、10 年間で 92%→98%に上昇（県内上位の値）。立地企業に係る固定資産税・都市計画税あわせて約 8 億 3,700 万円。

☐ 加藤しょうご 日高市に生まれ育った若者・学生が、日高市で就職したい・住み続けたいと思える施策は？

☐ 総合政策部長 「ひ・まわり探検隊」事業で、郷土の歴史や文化を学ぶ体験教室を実施し、地域交流も図っている。今年度新たな試み、「埼玉女子短期大学」の学生に、観光資源や特産品、市の仕事について講義、地域を知る愛着を持つきっかけづくりを提供。

現代の人口減少社会において、どこかの定住人口が増えれば、結局どこかが減ることになる、そのようなゼロサムゲームでは人口減少の基調を変えていく効果は乏しい。そこで、人口が減ることなく増えるばかりで地域を元気にできる第三の人口の考え方が関係人口です。この関係人口の創出・拡大こそが、地域を元気にできるカギであると考えます。

加藤しょうごは
考えます！



そこで、ふるさと納税の受け入れ金額県内 6 位にランクインする本市の強みを活かし、『日高市の「ファン」を増やすべく、ふるさと納税をきっかけとする関係人口化に向けた取組』について質問！

☐ 加藤しょうご ふるさと納税をきっかけに関係人口の創出・拡大、日高市のファンを増やす取組として考えられることは？

☐ 総合政策部長 ふるさと納税の寄附者数は年間約 15,000 件。寄附者に対して、地域イベントに関わってもらい・参加してもらい働きかけを行っていくこと。

II 市内に設置されているカーブミラー、街路灯の保守・管理について

交通安全のために設置されたカーブミラーが、老朽化などで倒れる事故が全国各地で相次いで発生しています。市内のカーブミラー、街路灯は、区長要望等、危険と思われる箇所に随時設置されており、設置時期はバラバラです。そのため劣化に伴う危険箇所をタイムリーにすべて市の保守・管理によって発見することは現実的には難しく、地元市民に協力を仰ぎ、危険箇所を通報してもらい、確認・対応していくことが、安全確保において必要な取組であると考えます。市民が危険と思われる箇所を発見したときに市に通報ができる状態は整っているか。そして、問い合わせに対する対応の状況を質問！



☐ 加藤しょうご 保守点検の状況は？

☐ 総務部長 今年度から、専門業者による劣化状況等の点検を実施中。

☐ 加藤しょうご 専門業者による点検は、今後も定期的に行っていく予定か？

☐ 総合政策部長 実施していきたいと考えている。

☐ 加藤しょうご 危険箇所に対する通報体制は整っているか。そして、問い合わせに対する市の対応の状況は？

☐ 総合政策部長 区長に配付している「自治会運営の手引き」において、不具合を通報する際の必要事項を Q&A 形式で掲載している他、年度当初に実施する区長会議で情報提供のお願いをするなど、地域住民の方に協力をいただきながら安全の確保に努めている。また、通報を受けた際には、速やかに現地確認を実施、危険箇所の対応に取組んでいる。

